



さあ、答え合わせをしよう!

## 第52週目 行ってみよう～愛媛県(えひめけん)からの出題

※ココを見てね!▶行ってみよう～愛媛県(えひめけん)

1. 縄文時代晩期から弥生時代にかけて、朝鮮半島とのつながりが特に強かったのは?

正解:②文京遺跡(ぶんきょういせき)

妙見山古墳(みょうけんさんこふん)は、瀬戸内海(せとないかい)につきでた高縄半島(たかなわはんと)の丘(おか)の上につくられた古墳時代前期(こふんじだいぜんき)の遺跡(いせき)です。高見Ⅰ遺跡(たかみⅠいせき)は、旧石器時代(きゅうせきじだい)の遺跡(いせき)です。だから、どちらも時代がちがいますね。正解は、②文京遺跡(ぶんきょういせき)です。土器(どき)や石器(せき)、そして鉄器(てき)など、朝鮮半島(ちょうせんはんと)や大陸(たいりく)とのつながりをしめすものがたくさん出土(しゅつど)しています。

2. 大久保遺跡(おおくぼいせき)から出土(しゅつど)したのは、中国の何?

正解:①鉄器(てき)

磨製石器(ませいせき)とその原石(げんせき)、碧玉製(へきぎよくせい)のくだ玉など、大久保遺跡(おおくぼいせき)からは、大陸(たいりく)との交流(こうりゅう)をしめすものがみつかっています。中でも、「お宝ベスト5」の2つ目にある、中国製の鑄造鉄器(ちゅうぞうてき)は貴重(きちょう)な資料(しりょう)で、中国の春秋戦国時代(しゅんじゅうせんごくじだい)の「燕(えん)」という地域(ちいき)、いまの北京(ぺきん)から遼東半島(りやおうはんと)あたりでつくられたことが研究(けんきゅう)によってわかっています。

3. 北井門遺跡から、大型器台が2つ出土しました。何に使われたものだと考えられていますか?

正解:②祭り用の土器(どき)

「お宝ベスト5」の4つ目、復元(ふくげん)された器台(きだい)はとても美しいですね。それぞれの高さは71.4~71.7cmとわずか3mmの差しかなく、精巧(せいこう)につくられています。弥生時代(やよいじだい)になると、墳丘墓(ふんきゅうぼ)とよばれる墓(はか)が登場(とうじょう)し、墓(はか)のつくりだしとよばれる部分に、さまざまな土器類(どきるい)が供(そな)えられました。特に、大型(おおがた)のものは岡山県(おかやまけん)や広島県(ひろしまけん)で多く見られます。遺跡(いせき)のたて穴建物からは、祭りで使われた土師器(はじき)の高杯(たかはい)や滑石製(かっせきせい)のまが玉なども見つかりました。正解は、②です。

4. 上黒岩陰遺跡(かみくろいわいわかげいせき)から発掘(はくつ)された人骨は、何体ですか?

正解:③16体以上

この遺跡(いせき)でみつかった人骨(じんこつ)は、縄文時代早期(じょうもんじだいそうき)の地層(ちそう)から出土(しゅつど)したものが多くです。その中には、シカの角で作った投槍(なげやり)が腰骨(こしほね)に刺(さ)さったものもあり、どのような状態(じょうたい)で亡くなったかがわかります。発掘(はくつ)された骨(ほね)を調べると、どんなものを食べていたか、骨折(こっせつ)やケガをしたことがあるかもわかるんだよ。

5. 妙見山古墳(みょうけんさんこふん)は、どんな形の墓(はか)ですか?

正解:③前方後方墳(ぜんぽうこうほうふん)

(4)と同じく、愛媛県(えひめけん)のページにあるマップから、妙見山古墳(みょうけんさんいせき)をクリックしてください。3枚のうち、1番左の写真を見れば、答えはわかりますね。正解は③前方後方墳(ぜんぽうこうほうふん)です。ちなみに、日本の本州から九州にかけて、古墳(こふん)は約16万基あります。そのうち前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)は約4,700基、前方後方墳(ぜんぽうこうほうふん)は200基超です。